

みんなで目指そう

生涯現役の生活を 健康寿命の延伸

すべての世代が健康づくりを実践し



令和4年度のはつらつリーダー塾

いきいき百歳体操は、健康で生き生きとした生活をできるだけ長く送れるように開発された“お手軽筋トレ体操”です。町社協では昨年度、この体操を町内に広く正しく普及するために「はつらつリーダー塾」を開講し、32名の方がブロンズコースの認定証を取得されました。

今年度は以下のとおり、第4期から5期生の募集を行っています。また、10月からはワンランク上の「シルバーコース」の募集を行います。ふるってご応募ください。

講座内容 いきいき百歳体操をはじめとする健康体力づくりに必要な正しい知識と動作を習得

場所 健康クラブ・フィットネスルーム

実施月 〈ブロンズコース〉
第4期生 7月～8月 ※募集終了
第5期生 9月～10月 ※8月募集開始
〈シルバーコース〉
第1期生 11月～12月 ※10月募集開始
くわしい内容は募集チラシをご覧ください。

最上町社会福祉協議会 Tel.43-3180 内線661
にお電話または直接お申し込みください。

災害火災たすけあい運動のお礼について

去る1月12日に、向町4区の中西一也さん宅の家屋が全焼した火災に対しまして、町民の皆さまからたくさんの温かい善意をいただきました。

皆さまから寄せられました募金は、3月24日に役場町長室にて、ご本人へ進呈することができました。謹んでご報告申し上げますとともに、厚くお礼申し上げます。書面ではございますが、ご協力いただいた町民の皆様にご報告させていただきます。



ありがとうございました! 令和3年度赤い羽根共同募金の実績

総額	1,672,522円	
・戸別募金	1,491,000円	(2,485世帯)
・企業募金	176,000円	(25企業)
・募金箱	5,522円	
↓		
・県の事業費	571,000円	
・町への配分金	1,101,522円	
町の福祉事業で使われています		

令和3年度歳末たすけあい運動募金の実績

募金額	1,596,300円	
・戸別募金	1,486,800円	(2,478世帯)
・篤志募金	101,500円	
・個人募金	8,000円	
↓		
・地域配分	1,554,000円	
・事務費	42,000円	
※町内127世帯に配分		



医療法人 永井医院
理事長・院長 永井俊一氏

子どもたちの健やかな育ちを応援したい

人口減少や長びくコロナ禍、地域経済の疲弊等、不安な社会情勢が続いています。しかしこんな大変な時代だからこそ、次代を担う子どもたちの健やかな育ちを、私たち大人が全力でサポートしなければならないと思っています。

子どもは、私たちの町の宝であり、国の宝です。それぞれに家庭環境は異なるものの、この町で生まれ育つすべての子どもたちが、明るい未来を信じ笑顔で輝き続けてもらいたい…。

そんな思いにより、この度、寄付というかたちで、子育て環境づくりにお手伝いさせていただきました。

新たな居場所づくり事業の概要

小学校の統廃合により学びの環境が充実する一方、地域のなかで子どもたちが健やかに成長するための環境づくりが求められています。いわゆる「新たな居場所づくり」です。このため、こども食堂をはじめ学習支援や自然体験、郷土学習、文化芸術等の分野に

定期的にお届け

7月から隔月ごとに、ご自宅まで食料品と商品券を、社協スタッフや民生児童委員がお届けします。
食料品/お米・パン・乾麺等の主食、缶詰などの加工食品、野菜・果物等の生鮮食品、レトルト食品等の副菜、菓子類等



オリジナルロゴマーク

子育て応援 宅食サービス

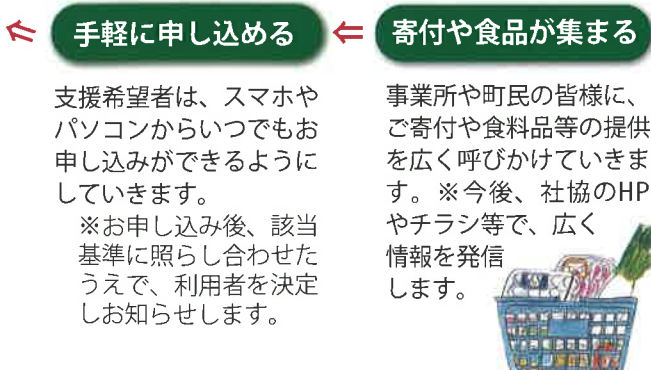
新たな居場所に
むけた環境づくり
を進めます。

生活が大変…と感じておられるひとり親等の子育て世帯を対象に、定期的に無料で食材や商品券等をお届けする「子育て応援宅食サービス事業」が今年7月からスタートします。さらに、新たな居場所づくりにむけた担い手育成事業にも取り組んでまいります。

はっぴーバスケット事業の概要

初年度となる今年度は、町と社協が掌握する支援を必要とされる世帯のほか、民生児童委員の皆さんからの情報提供をもとに対象世帯を設定し、支援の希望を募ります。
主な支援内容は、年4回(本年度以降は5回の予定)、食料品と「モガンバくん商品券」等を、社協スタッフと民生児童委員の皆さんが直接、対象世帯にお届けするものです。

《はっぴーバスケット事業の主な流れ》



また、この事業は生活支援のみならず、宅食活動を通じて「地域とのつながり、支えあい」を目的としています。



▲5月10日、医療法人永井医院・永井俊一理事長から高橋会長(最上町長)に寄付金200万円が贈られました。